

2009年3月期第1四半期 連結業績概要

2008年7月31日
TDK株式会社
取締役 専務執行役員
江南 清司

将来に関する記述についての注意事項

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

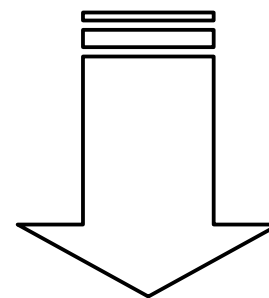
2009年3月期第1四半期 連結業績概要

(単位:百万円, %)

期 科 目	前第1四半期 (2007.4.1~2007.6.30)		当第1四半期 (2008.4.1~2008.6.30)		増 減	
	金 額	売上高比	金 額	売上高比	金 額	増減率
売 上 高	206,699	100.0	190,623	100.0	△ 16,076	△ 7.8
営 業 利 益	16,129	7.8	5,393	2.8	△ 10,736	△ 66.6
税引前四半期純利益	20,181	9.8	5,577	2.9	△ 14,604	△ 72.4
四半期純利益	16,022	7.8	4,446	2.3	△ 11,576	△ 72.3
1株当たり四半期純利益金額: —基本	122円 07銭		34円 48銭			
1株当たり株主資本	5,810円 72銭		5,693円 10銭			

2009年3月期第1四半期 為替影響

売上換算レート	前期1Q	当期1Q	変化
US\$ = Yen	120.82	104.56	13.5%の円高
Euro = Yen	162.75	163.44	0.4%の円安



売上高
営業利益

215億円の減収
66億円の減益

2009年3月期第1四半期 決算の特徴

□記録デバイス製品(HDD用ヘッド)

価格下落と為替影響による減収を、数量増加、製品ミックスの改善でカバーできず

□記録デバイス以外の電子部品

コンデンサは想定以上の価格下落と為替影響により減収

インダクティブデバイスは製品により需要の強弱があり、売上横ばい

電源等は半導体投資冷え込みの影響

資材価格高騰の影響(金属磁石、フェライト磁石、フェライトコア)

需要増を背景としたエナジーデバイスの増収

□記録メディアの販売事業譲渡によりセグメントを1つに

2009年3月期第1四半期 製品別売上高

(単位:百万円, %)

期 製品	前第1四半期 (2007.4.1~2007.6.30)		当第1四半期 (2008.4.1~2008.6.30)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
電子材料	49,703	24.0	45,671	24.0	△ 4,032	△ 8.1
電子デバイス	49,981	24.2	48,675	25.5	△ 1,306	△ 2.6
記録デバイス	70,416	34.1	72,445	38.0	2,029	2.9
その他	36,599	17.7	23,832	12.5	△ 12,767	△ 34.9
売上高合計	206,699	100.0	190,623	100.0	△ 16,076	△ 7.8
海外売上高(内数)	167,756	81.2	158,158	83.0	△ 9,598	△ 5.7

(注記事項)

従来表記の記録メディア製品をその他に組み入れて開示しております。

2009年3月期第1四半期 連結損益計算書

(単位:百万円, %)

科 目	前期 第1四半期 (2007.4.1~2007.6.30)		当期 第1四半期 (2008.4.1~2008.6.30)		増 減	
	金 額	売上高比	金 額	売上高比	金 額	増減率
売 上 高	206,699	100.0	190,623	100.0	△ 16,076	△ 7.8
売 上 原 価	150,632	72.9	148,415	77.9	△ 2,217	△ 1.5
売 上 総 利 益	56,067	27.1	42,208	22.1	△ 13,859	△ 24.7
販売費及び一般管理費	39,938	19.3	36,815	19.3	△ 3,123	△ 7.8
記録メディア販売事業譲渡益	-	-	-	-	-	-
営 業 利 益	16,129	7.8	5,393	2.8	△ 10,736	△ 66.6
営 業 外 損 益 :						
受取利息及び受取配当金	2,440		1,118		△ 1,322	
支 払 利 息	△ 28		△ 79		△ 51	
為替換算差益(△損失)	1,635		△ 698		△ 2,333	
そ の 他	5		△ 157		△ 162	
計	4,052	2.0	184	0.1	△ 3,868	△ 95.5
税引前当期純利益	20,181	9.8	5,577	2.9	△ 14,604	△ 72.4
法 人 税 等	4,051	2.0	1,340	0.7	△ 2,711	△ 66.9
少数株主損益前当期純利益	16,130	7.8	4,237	2.2	△ 11,893	△ 73.7
少 数 株 主 損 益	108	0.0	△ 209	△ 0.1	△ 317	-
当 期 純 利 益	16,022	7.8	4,446	2.3	△ 11,576	△ 72.3

2009年3月期第1四半期 (2008年7月31日)

2009年3月期第1四半期 営業利益増減

営業利益減 107億円 の内訳

(単位:億円)

【営業利益増減 合計】	-107
売上高増加による利益増(操業度、品種構成含む)	12
合理化・コストダウン・原材料値下げ	46
為替変動 (1U.S.\$=Yen 120.82 -> 104.56)	-66
売価値引き (5.0%)	-101
販売費及び一般管理費減	1

2009年3月期第1四半期 改善の為の施策

具体的施策

- コンデンサは計画より前倒しで量産稼動し、事業全体の生産効率改善を早め、投資回収を急ぐ。
- HDD用ヘッドは前期に計画した施策を実現させることで、生産効率改善し、利益率を改善させる。
- インダクティブ・デバイスは、製品構成の改善を進める。
- 電源事業は、デンセイ・ラムダ社との本質的一体化を加速させる。

前四半期比較(前期4Q vs 当期1Q)

(単位:億円) 売上高	前期4Q	当期1Q	増減
電子材料	459	457	△ 2
電子デバイス	514	487	△ 27
記録デバイス	879	724	△ 155
その他	227	238	12
売上高合計	2,079	1,906	△ 172
営業利益	133	54	△ 79

2009年3月期 上期 連結業績見通し

2008年7月31日

(単位:億円)	上期見通し (4月28日時点)	上期見通し (7月31日時点)	前回との差異
売上高	4,200	4,020	△ 180
営業利益	330	220	△ 110
税引前当期純利益	350	230	△ 120
当期純利益	270	175	△ 95
為替レート	100	102 *	

(U.S.\$=Yen)

*第2四半期以降の対米ドル円平均レートは、100円を想定しております。

当第1四半期の実績と第2四半期の見通しに鑑み上期の見通しを修正しました。

2009年3月期 連結業績見通し

(単位:億円)	2009年3月期 通期 見通し (4月28日時点)	2008年7月31日		2009年3月期 通期 見通し (7月31日時点)	前回との差異
		上期見通し (7月31日時点)	下期見通し 据え置き		
売上高	8,800	4,020	4,600	8,620	△ 180
営業利益	800	220	470	690	△ 110
税引前当期純利益	855	230	505	735	△ 120
当期純利益	650	175	380	555	△ 95
為替レート (U.S.\$=Yen)	100	102 *	100	101 *	

*第2四半期以降の対米ドル円平均レートは、100円を想定しております。

下期の見通しにつきましては、事業環境が不透明なことから、据え置いております。



プレゼンテーション資料に関する注記

本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信付属資料を参照していただきますようお願いいたします。